

放射線防護を実践的に学ぶ、

春の



10日間

研修生募集

放射線利用に伴うリスクと放射線から得られる利益を考え、科学的・客観的に原子力規制、安全面を判断し、実践することができる若い人材の育成を目的としています。特に実習・演習に重点を置いた体験型の研修が特徴です。

受講料無料

学生に限り

宿舎完備・旅費(交通費・宿舎料)支給

対象

理系分野の大学生、大学院生、
高等専門学校4・5年生、
若手社会人

研修中は日本語での対応となります。
All lectures and exercises
will be held in Japanese.



第4回防護一般課程 令和2年2月17日(月)～2月28日(金)

放射線の物理、測定、防護、法令など講義と実習を通じて放射線に関する基礎全般を学びます。

締切/令和2年1月9日(木)※

第3回防護健康影響課程 令和2年3月9日(月)～20日(金)

放射線のリスクに関して住民とリスクコミュニケーションできるよう、講義と実習を通して放射線影響について学ぶコースです。

締切/令和2年1月23日(木)※

※応募状況により変更になる場合があります。詳しくはWEBへ

実施場所・お問い合わせ

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所
(下記参照)



第4回 防護一般課程 時間表

期間:令和2年2月17日(月)～2月28日(金) 実施:放射線医学総合研究所 人材育成センター

第1週

2月17日(月)	9:00-9:10	9:10-10:10	I 10:20-11:50	II 12:50-13:50	III 14:00-15:30	IV 15:40-17:10
	開講式	プレテストガイダンス自己紹介	放射線防護の原則と安全基準	デモ:放射線の基礎	放射線の物理学(1)	放射線の物理学(2)
2月18日(火)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-13:30	13:30-17:00 (休憩10分含む)
	放射線計測(1)		放射線計測(2)		立入説明	実習A:計数値の統計とβ線の性質
2月19日(水)	9:00-11:10(休憩10分含む)		11:20-12:20		13:20-13:30	13:30-15:10
	放射線管理		緊急時における防護の考え方		実習説明	実習B:①～② ①サーベイメータの特性、②空間線量率測定
2月20日(木)	9:00-9:10	9:10-10:50		11:00-12:40		13:40-17:10
	実習説明	実習C:①～③		実習C:①～③		実習C:①～③
①表面汚染計の効率測定、②空气中濃度測定、③γ線スペクトロメトリ						
2月21日(金)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-14:40	14:50-17:00(休憩10分含む)
	実習D:汚染管理				放射線の法令	放射線の法令:グループワーク

第2週

2月24日(月)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-14:40	14:50-17:00 (休憩10分含む)
	放射線生物学概論		環境放射線		体表面汚染検査	放射線取扱施設見学:重粒子線棟
2月25日(火)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-15:00	15:10-17:00
	放射化学		非密封RIの安全取扱い		実習E:①～② ①非密封RIの安全取扱い、②液体シンチレーションカウンタ	実習E:①～②
2月26日(水)	9:00-10:30		10:40-12:20		13:30-16:20(休憩10分含む)	
	実習F:グループワーク ①実習の進め方、課題説明		実習F:グループワーク ②課題1		実習F:グループワーク ③課題2	
2月27日(木)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-15:20	15:30-17:00
	リスクコミュニケーション概論(1)		リスクコミュニケーション概論(2)		実習F:グループワーク ⑤討論	被ばく事故例と要因
2月28日(金)	9:00-12:40 (休憩10分含む)				13:40-16:20	16:30-17:00
	机上演習:グループワーク				量研機構紹介 ポストテスト、解説 まとめ:討論、感想	閉講式

注) 時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。また、講義及び実習は、予定より延びることがあります。

第3回 防護健康影響課程 時間表

期間:令和2年3月9日(月)～3月20日(金) 実施:放射線医学総合研究所 人材育成センター

第1週

3月9日(月)	9:00-9:10	9:10-10:10	I 10:20-11:50	II 12:50-14:20	III 14:30-16:00	IV 16:10-17:00
	開講式	プレテストガイダンス自己紹介(参加理由など)	放射線防護体系	国際機関と日本の役割	放射線被ばく関係法令	放射線取扱施設見学:新治療研究棟
3月10日(火)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-17:00(休憩10分×2回含む)	
	放射線生物学		放射線の人体影響		実習:生物学実習(1)(細胞周期、アポトーシス)	
3月11日(水)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-17:00(休憩10分×2回含む)	
	低線量影響		原発事故の環境影響		実習:生物学実習(2)(DNA)	
3月12日(木)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-17:00(休憩10分×2回含む)	
	食品中放射性物質の基準の考え方		原発事故の健康影響		実習:生物学実習(3)(細胞周期、DNA)	
3月13日(金)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-14:40	14:50-16:20
	放射線管理概論		線量評価法		福島生物環境研究	実習:オートラジオグラフィ(1)
量研機構の紹介						

第2週

3月16日(月)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-14:40	14:50-17:00(休憩10分含む)
	リスクコミュニケーション(1)		リスクコミュニケーション(2)		空気汚染による吸入被ばく	放射線取扱施設見学:低線量影響実験棟、マイクロビーム照射装置
3月17日(火)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-14:40	14:50-16:40
	原子力災害の心理社会的影響		対応の実際～放医研の経験～		被ばく事故例	講義と見学:被ばく医療(見学:緊急被ばく医療施設)
3月18日(水)	9:00-10:30		10:40-12:10		13:10-17:00(休憩10分×2回含む)	
	放射線リスクの伝え方		風評被害		机上演習:グループワーク	
3月19日(木)	9:00-12:10(休憩10分)				13:10-17:00(休憩10分×2回含む)	
	演習:リスクコミュニケーション(1)				演習:リスクコミュニケーション(2)	
3月20日(金)	10:00-11:30		12:30-14:00		14:10-16:30	
	実習:オートラジオグラフィ(2)		放射線の医学・産業利用		ポストテスト・解説 まとめ:討論、感想	
閉講式						

注) 3月20日(金)、受変電設備点検に伴う停電のため(9時30分～9時40分)、10時より開始します。時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。また、講義及び実習は予定より延びることがあります。